

平成26年12月19日

武雄市長職務代理者

武雄市副市長 前田 敏美 様

武雄市立武雄市民病院移譲先病院評価委員会

委員長 信友 浩一

### 平成25年事業年度の業務実績に関する評価結果

#### 1 評価の方法

武雄市立武雄市民病院移譲先病院評価委員会において新武雄病院の運営状況について評価を行った。評価は、当該法人より提出された平成25年事業年度に係る業務実績報告書をもとに評価の基本方針（平成23年1月24日策定）及び年度評価実施要領（平成23年1月24日策定）により行っている。

評価については、各年度実施する年度評価と目標期間を3年とする中期目標期間評価に大別し、今回は3年次の年度評価を小項目評価、大項目評価及び全体評価で行った。評価手法の概略は次のとおり。

- ・小項目評価 法人による5段階の自己評価と法人からのヒヤリング等を通じて、各委員により評価。
- ・大項目評価 各委員の評価を独立した評価として取り扱い 評点に応じて5段階で評価。
- ・全体評価 中期計画の進行状況全体について総合的に評価。

#### 2 小項目評価

小項目評価の結果を次に示す。各委員において評価にばらつきがあったが、個々の委員の評価を尊重するためそれぞれ独立した評価とした。また、会議の内容及び評価点数を補足するものとして評価コメント等を参考として追記した。

##### ※判定基準

- 5 年度計画を大幅に上回って実施している。
- 4 年度計画を上回って実施している。
- 3 年度計画を順調に実施している。
- 2 年度計画を十分に実施できていない。
- 1 年度計画を大幅に下回っている。

(1) 武雄市民病院事業譲渡契約の履行に関する事項

小項目	小項目細区分	法人評価	委員の評価別人数				
			1	2	3	4	5
救急医療の確保	救急医療の確保	4			1	4	
〃	消防との連携強化	4			1	4	
地域医療機関との連携		3			5		
診療科目、病床数等		4			2	3	
保健医療行政への協力		4			1	4	
病院の運営に関する意見の聴取等		4				4	1
地域住民の意見の聴取		4				5	
病院の継続運営		4			1	4	

○救急医療の確保

(評価できる点)

- ・救急医療体制は、計画的に確実に実行されている。

(改善又は要望事項)

- ・引き続き救急、医療体制に緩みがないように間断なく努力して頂きたい。

○消防との連携強化

(評価できる点)

- ・救急救命士への教育実習等、消防との連携は良好のようだ。さらに連携を強化してほしい。

○地域医療との連携

(評価できる点)

- ・逆紹介患者数は、年々増加しており、良い傾向である。
- ・県内中核医療機関とのパイプができたことについては、大いに評価したい。

(改善又は要望事項)

- ・地域の開業医との連携をさらに強固にするため、地域連携室を中心に渉外・広報活動を強く進めてほしい。
- ・今後も県内中核機関と尚一層のコミュニケーションの強化を図り、信頼関係の構築に努められたい。

○診療科目、病床数等

(評価できる点)

- ・中核的急性期病院として使命を果たすために、一般病床を減じ、集中治療室を増床したことは適切である。

(改善又は要望事項)

- ・診療科は維持しているものの、常勤体制でないものもあり、さらに充実をはかってほしい。
- ・病床に余裕がない状態が続いているようだ。武雄市近郊での災害があった場合が心配である。1日も早い増床をお願いしたい。
- ・ここ4年間の病床利用率は驚異的な数値となっている。多少のベッド稼働スラックは地域医療を守る中核病院としては絶対的に必要と思われ、病床数の増床について行政も含めて可能性を模索していくべき。

#### ○保健医療行政への協力

(評価できる点)

- ・市民の健康に対する認識が高まり、それに対応して年々受診者も増加し、好ましい結果となってきている。
- ・検診受診者が大きく増加したことは、評価して良い。

(改善又は要望事項)

- ・検診と同時にその結果へのアドバイスも大事だと思うので、いままで以上の適切な指導をお願いしたい。
- ・武雄市では、がん検診率日本一を目指して広く啓蒙活動を行っており、併せて当院もがん検診強化の体制へシフトしたら良いと思う。

#### ○病院の運営に関する意見の聴取

(評価できる点)

- ・本会に対する新武雄病院側の説明は丁寧であり、本会の要望や指摘をうけて職員の資質向上の議論もなされている。

#### ○地域住民の意見の聴取

(評価できる点)

- ・地域に根ざした医療を推進し、市民に浸透してきている姿が伺える。

(改善又は要望事項)

- ・地域評議委員会は、年2回開催されている。確実に最低2回は開催してほしい。
- ・健康教室は、計画的に実施されているようだ。今後も計画的な開催をお願いしたい。

#### ○病院の継続運営

(改善又は要望事項)

- ・診療領域別症例検討会をスタートしてもらいたい。

(2) 医療サービスの質に関する事項

小項目	小項目細区分	法人 評価	委員の評価別人数				
			1	2	3	4	5
地域医療に必要な高度医療の充実	高度医療の充実	4				5	
	高度医療機器の計画的な更新整備	3			5		
医療スタッフの確保、専門性及び医療技術の向上	医療スタッフの確保	3			4	1	
	専門性及び医療技術の向上	4			1	4	
より安心で信頼のできる質の高い医療の提供	医療安全対策の徹底	4			1	4	
	患者中心の医療の実践	3			5		
	科学的な根拠に基づく医療の推進	4			1	4	
法令行動規範の遵守		4				5	
研修研究会を通じた地域医療への貢献		5				4	1
診療待ち時間の改善等		3			4	1	
患者・来院者のアメニティの向上		4				5	
患者の利便性向上		3			4	1	
災害時における医療協力		4				5	
市民への保健医療情報の提供・発信		4				5	

○地域医療に必要な高度医療の充実

(改善又は要望事項)

- ・医師及び職員のスキルアップのために研修等は必要である。今後も積極的に参加する様にしてほしい。
- ・高度医療機器の計画的な更新・整備をおこなってほしい。

○医療スタッフの確保、専門性及び医療技術の向上

(評価できる点)

- ・人材不足の農村都市でこれだけの医療スタッフを確保できたその努力に敬意を表したい。
- ・医師及び医療スタッフの確保は大変だと思う。武雄地域を考えると良くやっているのではないかな。
- ・職員のスキルアップにかなりの力を注いでいる姿が伺える。

(改善又は要望事項)

- ・地域出身ドクター・ナースの登用をおこなってほしい。
- ・チーム医療の推進を。

○より安心で信頼できる質の高い医療の提供

(評価できる点)

- ・質の高い医療を提供しようとすることに努力されている様子が伺える。

(改善又は要望事項)

- ・常に上を目指し充実させていく努力を。
- ・患者・家族が理解しやすいように、マンネリ化にならないように丁寧な説明を今後もお願いしたい。

○研修研究会を通じた地域医療への貢献

(評価できる点)

- ・研修会等を開催して、地域医療に貢献されている様子が伺える。
- ・概ね評価できる。医療の質とも隣り合わせの命題とも云え、尚一層努力されたい。

(改善又は要望事項)

- ・症例検討会を四半期毎に実施してほしい。
- ・医療スタッフのスキルアップとより良い医療の提供は、患者にとっても重要課題であり、数を重ね実施してほしい。

○診療待ち時間の改善等

(評価できる点)

- ・待ち時間の短縮改善は前向きに行われているようである。
- ・短縮に向けた内部改善に対する取組は評価できる。

○患者・来院者のアメニティの向上

(評価できる点)

- ・良く出来ているようである。
- ・近隣の医療施設との比較に於いて、当医院は一定レベル以上にある。

○市民への保険医療情報の提供・発信

(評価できる点)

- ・非常に良くやっていると思う。これからも継続して下さい。

(3) その他

小項目	小項目細区分	法人 評価	委員の評価別人数				
			1	2	3	4	5
経営の効率化	法人としての運営管理体制の確立	4				5	
	業務執行体制の見直し	4				5	
	職員の職務能力の向上	4			1	4	
	収入の確保と費用の節減	4				5	
当該医療圏での不足医療の把握		4			3	2	
地域貢献		4				5	

### ○経営の効率化

(評価できる点)

- ・目標達成へ向って、それぞれの部署が行動されている様子が伺える。
- ・大概評価できる。法人の所在地を武雄に移され、新武雄病院の運営母体の取組姿勢が伝わった。
- ・業務執行は、積極的に良い方向へ見直しが進められているようである。
- ・研修計画に則り、職員の能力向上が計られているようである。
- ・武雄地区の中核的急性期病院として、医師・職員があらゆる分野で精力的に頑張っておられる結果が利用者の増加につながっていると思う。

(改善又は要望事項)

- ・各部門の情報が滞らない様に常に共有化できる体制をとってほしい。
- ・この病床利用率は限界値に近く、患者に無理な負担が強いられてないのか、逆に不安になる。勿論、患者の病状にもよるのだろうが、単なるオペレーション志向にならぬようお願いしたい。

### ○当該医療圏での不足医療の把握

(改善又は要望事項)

- ・地元医師会を中心とした地域医療連携をいろいろな施策を捕えて前向きに行ってほしい。

### ○地域貢献

(評価できる点)

- ・安心して安全な医療（24時間・365日）等で大いに貢献していると思う。

(改善又は要望事項)

- ・市民病院の役割を継承した責務は極めて重く、今後も全役職員に対して新武雄病院設立の経緯を十分に理解させ、それが日々のルーティンワークにも活かされるよう指導を宜しく願いたい。

### 3 大項目評価

大項目評価については、各委員の小項目の評価結果を集計し、その評価点数に応じて中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況について評価した結果、次表のとおりとなった。

#### 【判定基準】

- 「特筆すべき進捗状況」 中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。  
(評価委員会が特に認める場合)
- 「計画どおり」 中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる。  
(すべての項目が5～3)
- 「おおむね計画どおり」 中期目標・中期計画の達成に向けておおむね計画どおり進んでいる。  
(5～3の割合が9割以上)
- 「やや遅れている」 中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。  
(5～3の割合が9割未満)
- 「重大な改善事項あり」 中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある。  
(評価委員会が特に認める場合)

大項目	小項目 評価数	各委員の小項目評価結果					大項目評価
		1	2	3	4	5	
武雄市民病院事業譲渡契約の履行に関する事項	8	0	0	11 (27.5%)	28 (70.0%)	1 (2.5%)	計画どおり
医療サービスの質に関する事項	14	0	0	25 (35.7%)	44 (62.9%)	1 (1.4%)	計画どおり
その他 (経営の効率化、当該医療圏での不足医療の把握、地域貢献)	6	0	0	4 (13.3%)	26 (86.7%)	0	計画どおり

#### (1) 武雄市民病院事業譲渡契約の履行に関する事項

中期目標・中期計画の達成に向けて「計画どおり進んでいる」との評価となった。昨年度は、「おおむね計画どおり」という評価であったが、「地域住民の意見の聴取」に関する取り組みが向上したため、本年度は1段階評価が向上した。これにより小項目評価「2」（年度計画を十分に実施できていないとする評価）が一つもなく、計画どおり進んでいるという評価となった。

(2) 医療サービスの質に関する事項

昨年度に引き続き中期目標・中期計画の達成に向けて「計画どおり進んでいる」との評価となった。昨年度の「看護師に対する研修の実施を」という委員会の指摘に対し、平成 25 年度は、昨年度より研修やセミナーへの参加数が伸びていることは評価に値する。

(3) その他（経営の効率化、当該医療圏での不足医療の把握、地域貢献）

中期目標・中期計画の達成に向けて「計画どおり進んでいる」との評価となった。特に「業務執行体制の見直し」の項目では 7 名もの障害者雇用に努めており、法人と評価委員の双方で評価が高い結果となっている。

また「地域貢献」の項目では、対応困難患者については担当医師若しくは看護師が救急車に同乗し紹介医療機関へ出向き、患者情報を搬送先へ直接伝える、といった対応も評価できる。

4 全体評価

昨年度は、小項目評価のうち、特に「地域住民の意見の聴取」については「年度計画を十分に実施できていない（評価 2）」としていたが、その後、地域評議委員会や健康教室の回数を増やすなどの取組みを強化されたことで、今回は「年度計画を順調に実施している（評価 3）」と評価した。

これにより、小項目評価全てが（評価 3）以上となり、また、大項目についても「概ね計画どおり（評価 3）」から「計画どおり（評価 4）」との評価とした。

ただし、継続的な課題である地域医療との連携のためには、地域包括医療を進めることが不可欠であり、地域医療に必要な各診療科での常勤医師の確保や、回復期患者のための病床確保に努められたい。

本会の評価結果について、真摯に対応し、課題の改善へ努力されている新武雄病院の姿勢は大いに評価するとともに、さらなる課題点の改善に期待したい。